

# 井の口まちづくり会通信

井の口まちづくり会 設立・平成20年3月23日  
 発行・平成29年9月20日・第20号通信  
 責任者・小林 孝夫 (井の口まちづくり会会長)  
 〒500-8018 岐阜市大仏町8 ☎058-264-2760  
 事務局長・名和 利夫 ☎058-263-0097  
 通信作成・馬場わかよ bwakayo@qa2.so-net.ne.jp

## 井の口まちづくり会10周年記念事業開催

### 11月4日(土)・5日(日)

●入場無料会場 10:00~16:00

平成29年度 ~あなたの眼をわたりに~  
岐阜市市民活動支援事業 採択事業

まちに「にぎわい」と「お宝」満載の2日間

井の口まちづくり会 10周年記念事業 幹事長 岩佐 純一

日頃より、井の口まちづくり会の活動にご賛同ご協力を賜り誠にありがとうございます。お陰さまで本年、発足10周年を迎えることができました。井の口まちづくり会は、道三、信長の戦国時代の町割りをいまに残す井の口地区で、このまちの自然、文化、歴史、産業、人材を掘り起こすことで、普段見過ごされているまちの魅力を次世代に継承し、将来的にまちづくりの推進につなげていけるよう活動しております。


今回、10周年記念イベントを11月4日・5日の両日、地区内の各会場において「井の口まちのお宝展」として、年配の人には懐かしい、若い人には興味深い、このまちの今昔を映した写真展や、古地図と懐かしものたち展、さらには趣味の作品や工芸品、コレクションなどを展示いたします。

また、まちなか案内人さんで行く「探索ツアー」では、通常では見ることのできないまち歩きを用意し、このまちの文化や歴史、産業、そして人に触れていただくとうと企画しました。ぜひ、多くの皆さまのご参加をお待ちしています。開催に当たりまして、多くの皆さまにご協力をいただきお礼申し上げます。

**般若寺会場** 木挽町 公園の湯斜め前

### 写真・井の口の今昔展

同時開催：吉田尚弘氏 遺作写真展示



このまちの懐かしい風景を現代の同場所から撮影して、井の口の歴史の変遷を辿ります。写真により記録に残し再認識を図ります。(まちの風景検討部会)

**正法寺会場** 大仏町 岐阜大仏庫裡

### 古地図と懐かしものたち展


同時開催：杉山家(萬松館)所蔵 書簡 展示

このまちの古地図の複製拡大コピーを何点が展示し、それらの変遷分析や注釈を考察します。また、まちに残る古い道具類や古い用品、懐かし思い出される品物を住民の皆さまからお借りして展示します。書簡は大宮2丁目にあった杉山家の所蔵品です。(まちの歴史探索部会)

**河村邸会場** 下茶屋町 町家

### わたしのお宝展

会員と住民の皆さまらの作品やコレクションを展示。実演コーナーや制作説明など、見て、ふれあい、楽しんでいただけます。(まちなかアート部会)



**山本家事務所会場** 木挽町 旧日本フード

### 山本家事務所会場

日常生活の中で丹精込めて作られた作品などを展示。来訪の皆さまに見ていただき趣味の仲間同士の交流の場を提供します。(まちなかアート部会)

## 「井の口まちのお宝展」vol.2

●にぎわい特別会場 10:00~16:00

\*このほかに、物品販売・体験コーナーを予定しています。

**お抹茶** 正法寺会場 大仏町 岐阜大仏庫裡

呈茶料 300円

天気によれば正法寺の境内にて、美味しい和菓子とお抹茶をお待ちしています。(※雨天時は庫裡)



**ぜんざい** お代 300円

**ふくろう絵工房会場** 下茶屋町

手づくりふくろう作家伊藤いつお氏のお店で、会員手づくりのぜんざいを用意。美味しく、楽しく、おしゃべりして作品も見られるおまけ付き。

**個人宅 お宝拝見**

玄関先の開放や窓辺飾りで参加

**当日配付のマップにご紹介!**

個人のお宅や商店・企業の玄関先を開放いただいて、ご当家に伝わる品物や珍しいもの、懐かしいもの、あるいは、コレクション、趣味の作品などを拝見させていただきます。また、まちの通りから見られる場所に展示もさせていただきます。

●参加ご協力のお願い

お宅の玄関先や窓辺などに先祖伝来の品物や趣味の作品などを飾って、来訪の人たちに見せていただけませんか。ご協力を願いたします。

**河村邸会場** 下茶屋町 町家

### 手描き紙芝居を上演

落語の題材や岐阜を舞台に創作し描き上げた山田 准氏の作品を、奥様の孝子さんが楽しく上演します。無料

**占いコーナー** 見料 300円

東洋易学同友会・花水気会で5年以上在籍メンバーが日頃の研鑽を実践。手相、九星気学、姓名判断、易断etc

**カフェ茶人会場** 木挽町 バス停前

### 三味線演奏

 15:00~

お店の奥様・山崎由紀子さんが「皆で歌いましょう(日本旅行)北から南から」のテーマで演奏します。 無料

**協賛 妙照寺会場** 第2回 寺mama マーケット

梶川町(物販広場)

「やどりせむ あかざの杖に なる日まで」  
330年前、芭蕉が妙照寺滞在の折、ここでの癒しを詠んだ句です。そんなお寺で”和やかマルシェ”開催します。2年前の6月、妙照寺にて開催された「第1回 寺mamaマーケット」。荒天にも関わらず、たくさんのお客さまにぎやかに開催されました。そして、今年11月に第2回目のイベントを開催します。

●出店内容 ● (※雨天決行)

- クラフト・フード・お子さま楽しいワークショップ
- 心のコもった手作り雑貨 ・岐阜県産はちみつ
- ハワイのマッサージ(ロミロミ)
- オリジナルの名前入り色紙販売 などなど、3世代で楽しんでいただけるお店が、20ブースほど

妙照寺/寺mamaマーケット実行委員会 代表：堀 桂子

さらなる10年に向けて

井の口まちづくり会 会長 小林 孝夫

まちの魅力を大切にする活動を重ねて10年。先輩諸兄、並びに会員各位のご尽力のおかげでさまざまな事業がゆるぎなく展開されており、その内容は、各方面からも高い評価をいただけてまいりました。

しかし、井の口エリアもこの10年で随分様変わりしてきました。公共事業ではまちを貫く幹線道路の修景事業や、公園整備とそれに伴う移転事業。民地では空き家、空き地の発生。さらには進展する人口減少と高齢化率。何百年の歴史には武家屋敷の消滅や細街路の拡張以外は、町割りに際立った変化はありませんでした。震災や空襲からも免れた井の口地区にとっては、この僅かな10年は大きなものではないでしょうか。

風景の変化は時代を映しますが、特有の風土で育まれてきた私たちの心、可能な限りその変化に反映していきたいものです。

国の文化的景観の選定、日本遺産の認定をいただいている井の口です。少なくとも子供たちだからこそ私たちがこの魅力を伝えていかなければなりません。これからはさらなる10年に向けて、多くの皆さまのご協力とご支援をお願いいたします。

井の口まちづくり会 10周年



設立後10回目の定期総会 (平成29年4月29日開催)



井の口まちづくり会10周年特別企画 平成29年度 岐阜市市民活動支援事業 採択事業 11月4日(土)・5日(日) (イベント部会)

まちなか案内人で行く「井の口探索ツアー」参加者募集

〔ミュージアムコース〕

井の口は民間の博物館や美術館、画廊・ギャラリーが多く点在するまちです。ツアーでは、館内にて展示作品や作家などについてオーナーや館長から特別解説があり、通常の入場ではなかなか知ることのできないアートや知識に出会えます。

11/4(土) ① 10:00~12:00 ② 13:30~15:30

コース内容(順序不定) 定員 各20名

画廊光芳堂(「郷土が誇る日本画家展」を鑑賞)
なうふ現代(現代アート作家「井田幸昌展」開催)
小さい家(町家を改造した若手作家中心のギャラリー)
名和昆虫博物館(標本数30万点以上の民間博物館)

〔伝統産業・生業コース〕

古くから和紙や竹を使った伝統産業の工房や会社がこのまちに残っています。その産業の歴史的背景を知り、提灯やのぼり鯉の制作見学もします。また、生業として伝え残す努力と新たな産業としての創意・開発などの実情を見学します。

11/4(土) ③ 10:00~12:00 ④ 13:30~15:30

コース内容(順序不定) 定員 各20名

安藤商店(提灯の絵付け実演)・雑蔵(人形の展示場)
丸市木村商店(洗い格子の町家造り商店を見学)
小原屋商店(和紙で作る「のぼり鯉」の制作実演)
宇野カバン店(手づくりカバンの店)

〔お月見de狂俳コース〕

「まちなかお月見アート」との併催行事
この地で古くから親しまれていた狂俳。妙照寺の芭蕉の間でその魅力の解説とお題の発表を受け、金華山にかかる望(満月)の出を待ちながら、ススキ飾りがされた美しいまち並みを散策します。さらに、大仏殿や般若寺の庚申堂の夕暮れ拝観なども楽しんで、狂俳を一句つくっていただきます。

11/4(土) ⑨ 16:00~18:00

コース内容(順序不定) 定員 30名

妙照寺・芭蕉の間(狂俳の説明・岐阜中社事務局)
般若寺・庚申堂(金華山を臨む庚申堂特別公開)
正法寺・大仏殿(閉館時間の夕暮れ特別拝観)
ススキ飾りの下茶屋町や曲家のまち並みを散策
ふくろう絵工房にて呈茶券でぜんざい

※集合場所: このコースのみ妙照寺西門口

信長公450周年〔まちの歴史探訪コース〕

信長公450周年にあわせ、道三、信長がつくった城下町の町割りが今も残る井の口の歴史を訪ねます。ツアーでは、岐阜公園の居館跡見学と29年春に大改修を終えた三重塔の内部を特別に見学していただきます。また、常在寺、妙照寺、大仏殿では任職等による解説でひと味違う特別拝観を用意しています。

11/4(土) ⑤ 10:00~12:00 ⑥ 13:30~15:30 11/5(日) ⑦ 10:00~12:00 ⑧ 13:30~15:30

コース内容(順序不定) 両日とも同じ 定員 両日とも各20名

岐阜公園・居館跡(信長公450周年資料などによる説明)、三重塔(大改修できれいになった内部を特別見学)
常在寺(斎藤道三菩提寺)、妙照寺(竹中半兵衛軍敷跡・松尾芭蕉滞在の寺)、正法寺・大仏殿(日本三大仏の一つ)
城下町の名残(百曲り通り・七曲り通り・梶川堀)、御館所跡などのまち歩き

〔まちのお宝発見コース〕

井の口まちづくり会が「まちの文化的建造物」に顕彰選定している家々を巡り、その中の町家にて公開見学と専門家からの説明があります。ほかに、エアライフル射撃場や円空美術館など、普通のまち歩きでは見学できない場所を訪ねます。

11/5(日) ⑩ 10:00~12:00 ⑪ 13:30~15:30

コース内容(順序不定) 定員 各20名

井の口まちづくり会が平成26年度より毎年選定顕彰している「まちの文化的建造物」の町家を巡って散策
町家の公開見学(専門建築家による特長解説)
エアライフル射撃場(入場見学)
円空美術館(円空仏を80体所蔵・入館見学)

参加費: 1,000円(入館料・拝観料込み、呈茶券付き) 《当日受付時に参加費の支払い、予約制》
※「呈茶券」は、お抹茶会場またはぜんざい会場、占いコーナーで使用していただけます
申込方法: 下記の参加申込票に記入のうえ、大仏殿受付へ または、氏名・住所・電話・参加人数・コース名・時間番号をFAX 058-264-1079へ お問い合わせは、電話058-262-5844(若佐)まで
集合場所: (お月見de狂俳)コース以外はすべて、正法寺・大仏殿南側駐車場(大仏町)
※お車の方は、岐阜公園市営駐車場へ、バスの方は、岐阜公園歴史博物館前または本町1丁目下車
受付時間: 各コースすべて開始時間の30分前から 申込期間: 平成29年10月30日まで
その他: 最少催行人数は各コース5名、(お月見de狂俳)のみ10名、定員を超えた時点で締め切りの予定

平成29年度前期・井の口まちづくり会・各部会活動報告



ゲームを楽しむ子供たち

イベント部会
天仏フェスティバル協賛
今年は大仏フェスティバル30周年に加えて大仏さま開眼185年の節目の年に当たり、大勢の方々の来場で大盛況の7月22日(土)を迎えました。翌日は残念ながら、盆踊りの始まる頃まで一時雨に見舞われました。
さらにいえば、岐阜命名信長公入場450年であり、井の口まちづくり会も10周年というところで、子供たちのゲームを担当したイベント部会も大勢の子供たちを相手に盛り上がりました。紙面を借り自治会、婦人会の皆さまに感謝いたします。(後藤勝利)



「フレンドコーヒー」のふたり

まちなかアート部会
「七夕コンサート」開催
夕暮れの金華山・岐阜城を背景に、会員が飾り付けた笹と竹筒のキャンドルで来場者をお迎えした般若寺にて、今年も七夕コンサートを7月8日(土)に開催しました。
今年の出演者は、中学時代の教師と教えずで結成された「フレンドコーヒー」。アコースティックギターによる音楽と歌で、昔ながらの演奏やポップスから最新の曲までレパートリーは広く豊富で楽しめました。
最後には「七夕さま」を全員で合唱し、夏の夜のひと時を満喫しました。(伊藤逸夫)

井の口探索ツアー参加申込票

Form with fields for Name, Address, TEL, Companion, Course, and Time Slot.

「古写真」古地図の会場にてご確認ください。
広報通信作成部会 馬場 わかよ
発足以来昨年まで、欠かさず開催していた「まちなかお月見アート」。今回は10周年記念事業との併催となり、スキの配付をイベント前日の11月3日に行います。ススキ飾りのまち並みを見るたび、このまちを愛する地域の皆さまのご協力によって、まちづくり会の行事が出来ること感謝しています。
今年の十三夜は11月1日、望の月は4日ということで、お月見と狂俳の探索ツアーコースを設けました。金華山にかかる美しい晩秋の名月を待ちながら一句、そんな時間をお友達やご家族で楽しめられたらとお勧めいたします。

事務局だより

事務局長 名和 利夫